

■議案第39号
平成30年度湖南市一般会計補正予算(第2号)

主な質疑は次のとおりであります。

3月議会定例会で否決された議案第4号にかかる職員の住居手当にかかる減額補正は458万4千円となっていたが、特別会計等を含めた総額はいくらなるのかとの質疑に対して、特別会計、事業会計を含めた総額は501万6千円となるとの答弁がありました。これに対し、同定例会の議案質疑で、今年度8月の開始から3月末までの支給額が760万円となるのかとの質疑に明確な答弁がなかったことから、議会ではほとんどの議員が誤認していると指摘したところ、同定例会での答弁が不十分であったことはお詫びすると答弁がありました。

また、室戸市、東洋町との観光交流の協定締結に伴う旅費の増額補正について、協定締結後に費用は発生しないのかとの質疑に対して、今後、双方の特産品販売、観光交流、PR活動を検討する中で、追加で費用発生する場合はあり、予算の増額補正を要求することもあるとの答弁でありました。これに対し、協定の締結を計画する段階で、協定後も必要となる事業の予算も合わせて要求するべきではないのかとの指摘がありました。

また、今回の補正で住居手当458万円余りの減額に対して、都市計画マスタープラン改訂業務委託で800万円の増額があり、その不足分を予備費で補っている。6月議会定例会の補正としては異例の事であり、安易に

■議案第45/46号
全員賛成で可決
■議案第48号

観光の促進を図る意向

あるなら、本市の草刈りなどの道路管理、トイレ整備、宿泊設備などの充実を整えなければならぬが。

市としては当然、今後検討していきます。

今回は観光協定であるが、災害発生時の対応はどうするのか。

交流のない市町ではないので有事の際は、援助などの可能性も当然考えられます。

観光交流の効果が大きく見込めないとの意見もある中、目標数値や協定期間を定める必要はないのか。

本市として効果がないと判断した場合は、内部で協議します。

観光推進を目的とするならば他市町との協定を考えなかったか。

他市町との協定は摸索していません。室戸市、東洋町からの要望で上程に至りました。

協定後における観光交流の予算の増加や答弁内にあつた道路や施設の管理に対する財源の想定は。

宿泊施設などは民間を活用し、市に無いものは近隣市町と協力して補っていく。滞在時間を延ばすことで経済効果を高めたい。現在イベント開催などの予定はなく物産販売などを強化していきたい。

観光の促進を図る協定。施設等の整備、伴う財源のビジョンも明確でない。

賛成討論 市の観光に対する現状を認識し、高めることに期待する。

賛成多数で可決

閉会中の調査報告
湖南市市民産業交流促進施設(仮称)みらい公園湖南魅力発信拠点施設について

4月24日(火)

備スケジュールは。

施設は指定管理者制度を予定しており、6月に公募を開始し、選考委員会を経て9月議会でご審議頂き、11月頃オープン予定です。

農家レストラン近辺は週末を中心に混雑しているが、対応は。

イオン側との協議を進めています。渋滞緩和に向けて努力を重ねます。

道の駅の登録に向けての課題や、集客に向けた考えは。

秋の登録を目標に、認定されれば、道の駅の表示看板が設置出来ます。道の駅ホームページ、県内の道路マップ、カーナビゲーションへの反映などがあります。

愛称の募集は。

公募を6月から開始を予定しています。

大型バス駐車場確保のために普通自動車の駐車場が少ないが。

大型バスの駐車場が空の場合、兼用とします。不足分はイオンと交渉していきます。

レストランの浸水の可能性はないのか。

また、排水はどのような考えでいるのか。

ハザードマップ上1m浸水の可能性がありますが。床下浸水はあっても床上浸水の可能性はありません。排水は西側に勾配し、南側の用水路へ導きます。

グリーンツーリズムなどの利用者数増加に向けての考えは。

農業塾の活用を考えています。また産業ツーリズムとして周辺工場の見学等と合わせての検討もしています。

農家レストランのオープンに向けての準備